

平成27年度 白百合染繡逸品会

ごあいさつ

陽春の候、ますますご繁栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別なるご高配を賜りまして厚く御礼申し上げます。

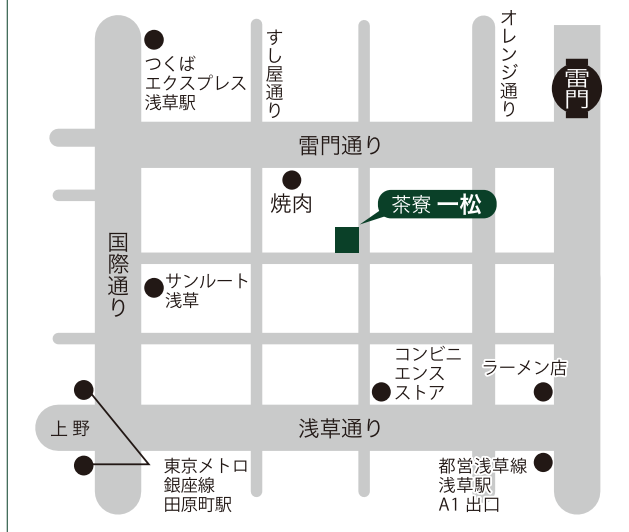
さて、平成27年度の白百合染繡逸品会を江戸情緒あふれる浅草にあります老舗料亭「一松」にて開催いたします。「一松」は雷門から徒歩3分のところにあり、スカイツリーまでは人気の散策コースとなっています。この機会に着物をお召しになり江戸下町の情緒を味わいながら、作家たちが染め上げ、織り上げた新作の着物をお楽しみいただければ幸いです。

平成27年4月
白百合染繡同人会一同

《出品品目》

- 御陵織帯「紋屋井関」
- 「清染居」上野街子
- 一刀彫 三代目光蔵
- 米沢 白根沢
- 東京友禅
- 工芸染繡 大松
- 染織楽房
- 京鹿の子絞り 藤井絞
- 結城紬
- 小千谷縮み
- 江戸小紋
- 夏物 各種
- 龍工房 組紐

会場のご案内



浅草「茶寮 一松」

東京都台東区雷門1-15-1
Tel. 03-3481-0333

- 地下鉄銀座線田原町駅 徒歩3分
- 都営浅草線浅草駅 徒歩5分
- つくばエクスプレス浅草駅 徒歩5分

白百合染繡逸品会

と き：平成27年6月13日(土)・14日(日)
AM10:00～PM6:00(受付はPM5:00まで)

ところ：浅草「茶寮 一松」

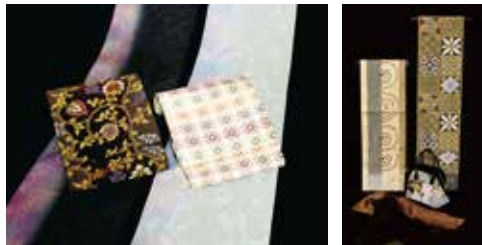
京友禅 上野街子 清染居



上野家は100余年の歴史を誇る京友禅の名家です。人間国宝上野為二の次男夫人である上野街子は、「染清居」の号で制作を続ける友禅作家です。女性らしい繊細さと優美な色彩感覚を持つ、きものを製作しています。

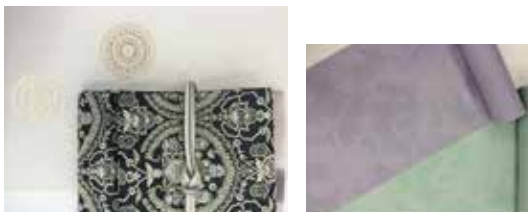
きもの一刀彫 三代目光蔵

作家
来場



一刀彫は三重織の白生地に図柄に合わせ彫刻刀を用いて一越一越彫り上げてゆきます。柄をシルエットで上げることで立体感のある美しさを表現します。

染織楽房



「きもの」を楽しむ。モダンな空間でもすんなりと溶け込めるシンプルで控えめな「きもの」。素材感、色合わせなどコーディネートを楽しむ。帯は思い切りのしく。日常の中で「和」をお楽しみ下さい。

御寮織帯「紋屋井関」

作家
来場



平安の頃から宮廷織物師として代々続いた井関家は屋号を「紋屋」といいます。明治になるまで公家・將軍・大名の衣装を織り続けた紋屋井関は、今現在も西陣を代表する織元です。

米沢織元 十一代 白根澤 もじり織 紅天蚕

作家
来場



米沢の織元「白根澤」は創業250年で、当代は11代目になる最も古くからの織元です。経・緯の糸を絡むことで透かしを表現した「もじり織」は単衣に最適です。絹のダイヤモンドといわれる天蚕を使った「紅天蚕」は最高に贅沢なおしゃれ着です。

東京染



江戸が開府された時に全国の染や織の職人が集まり、それぞれが江戸っ子の感覚で染の技を磨きました。友禅のみならず伊勢型、紅型、江戸刺繍と多岐にわたる現代の東京染をご披露いたします。

「京鹿の子絞り」藤井絞



染色技法の中でも最も古い歴史を持つ絞り染めですが、制作を続ける作り手も少なくなっていました。藤井絞は、大正4年の創業以来、確かな技術力でもの作りを続け、伝統を受け継いでいます。

龍工房 組紐

組紐
実演



武具に使われた紐に由来し、帯締めや羽織紐として今に伝わる組紐。日本橋「龍工房」は、伝統と技術に新しい感覚を加えてもの作りに取り組んでいます。東京好みのしゃれ味のある帯締め、個性的な図案の帯揚げが特長です。